

同寺は2002年に
水琴窟を作った際、し
たたる水の音を録音
してCDを制作、参拝
者に贈ってきた。東日
本大震災後、支援活動
を通じて交流が生ま
れた被災地のボランテ
ィアや被災者のほか、

村井住職が取り組む「グリーフケア（身近な人を亡くし悲嘆する人の支援）」の心を癒やしてもらおうと、新作を作ることにした。

CDは、下京区の水琴窟総合プロデュース

会社に依頼し、境内にある5基の水琴窟のしづくや掛樋の水、沢のせせらぎなど自然の音を収めた。ジャケットには、被災地でグリーフケアに取り組む女性からの手紙に書いてあつた「愛してゐ

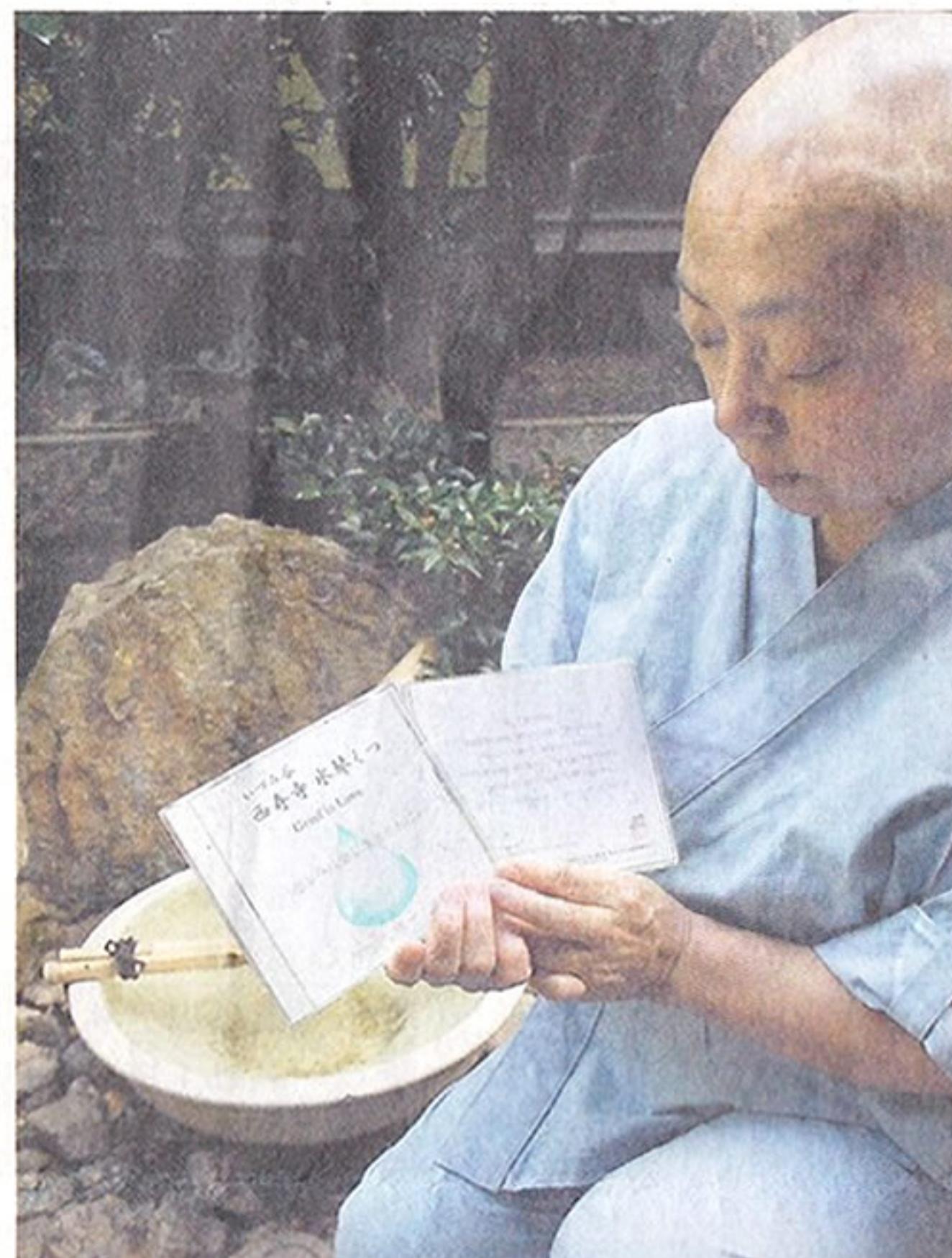
た。
村井住職は「今年の
お盆の前に完成してよ
かつた。CDが聞いた
人にとつて、新しい生
き方を見つけていくた
めの一助になればうれ
しい」と話す。

京都市右京区の西寿寺が、境内にある水琴窟の音を収録したCD「悲しみは愛しさとともに」を作り、近親者を亡くした人を支援するボランティア団体などに送った。村井定心住職(55)は「深い悲しみを少しでも癒やせれば」と話している。

被災者らに新CD送る

新作した水琴窟のCD。ジャケットのしづくの
絵は涙を表している(京都市右京区・西寿寺)

近親者を亡くした人



新作した水琴窟のCD。ジャケットのしづくの
絵は涙を表している(京都市右京区・西寿寺)

水琴窟の音で心癒ゆして